

牛群検定成績を活用して生産性向上をめざす

牛群検定は、乳牛の乳量・乳成分や繁殖データなどから生産者毎の傾向を浮き彫りにし、乳質管理や飼養管理など経営上改善が必要なことを確認するために取り組んでいる事業です。今年度から検定成績表が一新されたため、南丹牛群検定組合で研修会が開催され、事業のメインセンターである当所が講師を務めました。牛1頭の乳成分の低下が経営に及ぼす影響が数値化されるようになり、乳質改善の参考にしたいと生産者からは意欲的な発言が寄せられました。



検定成績の有効活用を図るため熱心に受講